

## 4章：国・算・理・社どの教科が大事？

中学校受験に必要な教科は主に4教科。最も大切な教科はズバリ！算数。

思いつく理由を数点。ほとんどの学校で配点が高い教科は国語と算数の2教科。灘中学校（神戸市東灘区）受験に関しては、社会は受験科目に入っていない。難関校になればなるほど、算数の問題が複雑になり受験者平均点や合格者平均点は低い。つまり、算数で差がついてしまう。国語もちろん大切な教科だが、受験の算数は①問題を論理的に理解し、②経験と閃きにより式（解法）を作り、③正確に計算を行い答えを出す。②の能力を身につけることが極めて難しく、多くの問題に取り組むことはもちろん、日常でも鍛えることは出来る。一方、①は4教科全てにおいて必ず必要な能力であり、主に国語の勉強を通して身につける能力だが、全ての教科で必要な分、常に鍛えられる能力になるので真面目に勉強に取り組むことで解決出来ると考える。

では、②の経験と閃きにより式（解法）を作る能力を、勉強以外で場、つまり日常でどれだけ鍛えることが出来るかだが、これには日常の会話を工夫することで少しずつ身につけることが出来る。2つ例を挙げる。

1つ目は、家族で車で出かけるような時に、周りの車のナンバープレートの数字4桁を見て、初級編は全部の数字を足し算するといくつ？中級編は左の2つ

の数字の和と右の数字の和の差（負の数は中学校で習うので、大きい数字から小さい数字を引く）はいくつ？上級編は全ての数字を加減乗除を使って、10の数を作るにはどんな数式が考えられる？（必ずしも10にならない組み合わせもあるが、考えることが大切）。親や兄弟姉妹と一緒にやると、競い合っとても楽しく、自分で数式を作る練習になる。ついでに、都道府県の勉強にも自然となるのでナンバープレートは優れた教材の1つだと思う。2つ目は・・・

**※全文をご覧になりたい方は小冊子プレゼントフォームへお進みください。**